

愛知医療学院短期大学 報道資料

地域医療振興、災害時救援で協力

協定書を手にする石川学長（左）と永田市長



学校法人佑愛学園愛知医療学院短期大学（清須市）と清須市は8日、清須市須ヶ口の清須市役所で「包括連携協定の締結式を開いた。地域医療振興や教育研究、災害時救援など幅広い分野で相互協力する。

締結式には、同短大の石川清学長と清須市の永田純夫市長が出席。協定書に署名して、幅広い分野で連携協力していくことを確認した。

あいさつした石川学長は「短大に併設してリハビリクリニックやデイケアセンター

愛知医療学院短大、清須市と連携協定

が運営されており、2020年には短大付属のこども園も開設する予定。高齢者、学生、子どもが3世代が交流する拠点となる。今回の協定により、市や地域とより深く連携して貢献したい」と意欲を示した。

また、永田市長は「市の高齢者人口は拡大し、後期高齢者も増える。高齢者、若者、子どもが活躍できる市となるためには支える人材が必要だ。短大には人材育成で期待が大きい。今回の協定を生かして一層の連携強化を図り、健康福祉の充実を目指す」と語った。

包括連携協定により、清須市民げんき大学の拡充や人材の相互派遣、市民公開講座の開催、まちづくりに関する学生の意見収集、災害発生時の救援・救護活動、清須市総合防災訓練への参加などに取り組む。

（清須）

清須市と官学連携 協定を締結！

令和元年8月8日 清須市庁舎にて